

ぎょくとう農地利用最適化推進運動

農委会名：玉東町農業委員会

1 地域の概要

本町は、熊本県の北部、玉名郡の南東部に位置し、東は熊本市、北は山鹿市、玉名市及び和水町、西は玉名市、南は熊本市及び玉名市に接している。

周囲を山に囲まれて中央が盆地となっており、中央部から北西に向かって木葉川が流れ、菊池川に合流している。田畑、山林の割合が多く、産業は農業が主体で、町南部は、隣接する熊本市及び玉名市とともに金峰山麓オレンジベルトを形成するミカンの中核的生産地で、他にも、ナシ、すいか、ハニーローザなどの生産も盛んである。

しかし、農業従事者の高齢化、担い手不足などで遊休農地が進み、有害鳥獣の被害や農地集積等、農地の有効活用ができてない。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 11人（うち認定7人、女性2人）
- (2) 推進委員数 10人（うち認定4人）
- (3) 事務局体制 2人（うち専任1人 兼任1人）

3 掲げた目標

令和6年度中での町内全域（3地区）における目標地図作成

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

令和6年度に町内3地区の目標地図の作成に取りかかり、対象地域で耕作している全員を意向調査の対象者とした。

意向調査はアンケートを行い、話し合いでは農地の規模拡大予定者や地元の中心的な担い手に対し地元農業委員より参加を募り、農政主管課及び農業委員会事務局職員が進行役となり、意向調査で得た情報を反映させ現況地図や地域計画の概要を示した資料を用いながら、関係機関や地元委員協力のもと会合を行った。



【話し合いの様子】

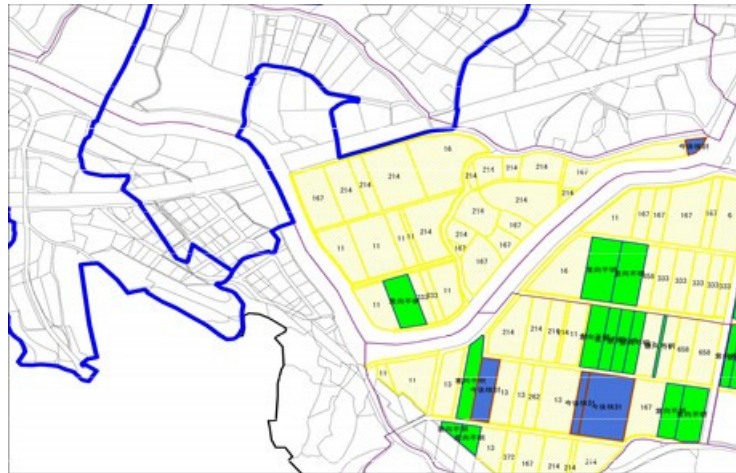


【現況地図】

5 取組みの成果

協議の間では、1回目の会合で地域計画の概要説明、目標地図作成エリアの決定、エリア内の現状把握、各農地の将来の耕作者決め、地域の課題や将来の地域像について意見の取りまとめを行った。

温州ミカンなどの果樹が盛んな山間地域では、農地の交換など意見が出にくい地域もあったが、3地区すべての目標地図作成まで進めることができた。



【目標地図（素案）】

6 課題と今後の方針等

地域計画の目標地図作成まで出来たが、田に関しては地元の担い手による耕作者が決まるものの、山間部の畑である樹園地（温州ミカン・ナシ・柿・栗など）については、園地の状況が異なるため離農予定者の穴埋めが中心だった。そのため将来の耕作者が決まらず現況地図がそのまま目標地図となる地域も多かった。

このような地域は耕作放棄地や鳥獣害対策などの早急な課題があり、再度協議の場を設ける必要性等について検討を行っている。

令和7年度以降において、多くの意見を目標地図に反映させるため、民間のファシリテーターを招き、目標地図のブラッシュアップを図る予定。